

ハーモニ-



しんぶん

E-mail:kodomo1@kcv.ne.jp http://hamomira.or.jp/

2023年12月9日発行

第105号

認定特定非営利活動法人
ハーモニ-ネット未来



〒714-0081 岡山県笠岡市笠岡 5909
TEL (0865) 63-4955
FAX (0865) 63-4950

2023年度 一般財団法人岡山県教育職員互助組合助成事業

第21回

ワクワクドキドキ 科学であそぼう

日時:令和5年11月3日(金・祝)12:30~15:00

場所:浅口市鴨方町ふるさともがたプラザ“ビッグハット”

参加人数:実験参加者 237名・付き添い者 350名

ボランティアスタッフ:121名(中・高・大学生45名・大人76名)



4年ぶりに復活した『ワクワクドキドキ科学であそぼう』は、21回目の長寿イベント!今年初めて定員(300名)をもうけ、事前予約制を取り入れてみました。当日は多くの子もたちが科学にふれ、五感で不思議・驚き・喜びを感じる体験を楽しんでいました。また、中高生がボランティアスタッフとしてブース運営に最後まで参加し、達成感ややりがいを感じる機会となったようです。学生ボランティアの皆さんを始め、井笠の味づくり研究会、岡山県備中県民局農林水産事業部井笠地域森林課・鴨方消防署・ローム・ワコー株式会社の皆さんご協力いただき誠にありがとうございました。

子どもふるしき市

IN いちょう祭り

日時:令和5年11月19日(日)10:00~14:00

場所:(株)木乃新月極駐車場にて

出店数:33店 51名:(当日キャンセル1店舗2名)

スタッフ:16名

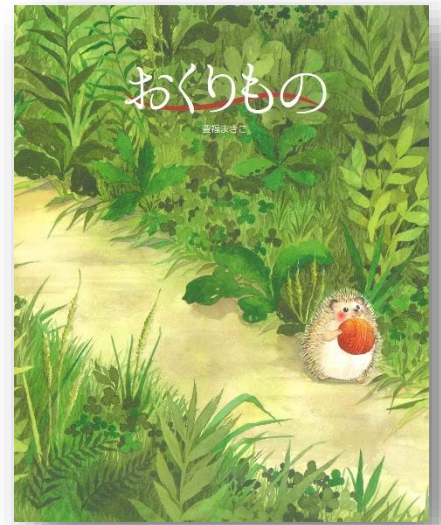


今年で18回目のふるしき市は、4年ぶりということもあり、開始前から入場口はお客さんであふれていました。子ども店長さんたちは、開始から終了まで「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」「これも買ってください」と大きな声で自分の商品をアピールし、次々と商品を売っていました。本事業は、物を大切に作る心や、客と会話することでコミュニケーション力を身につける機会となり、またとない社会体験の場となります。今後も子どもたちのために続けていきたい体験活動のひとつです。

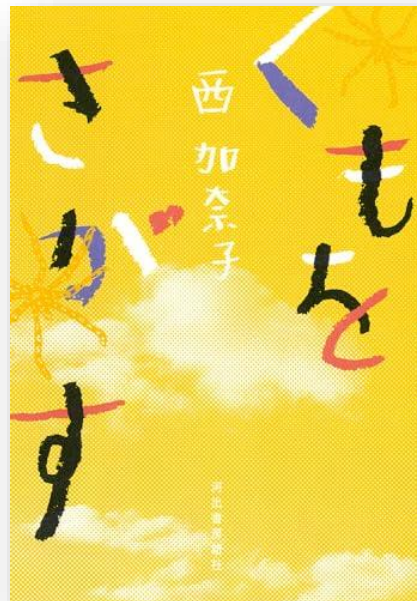
科学・ふるしき市報告	P1
本が好き	P2
食卓に吹く風	P3
舞台鑑賞	P4~5
お知らせ	P6

■阿藤美穂子

ハリネズミくんは、じぶんのハリがきれいでした。
森の動物たちと会う時は、少し場所をあけて座りました。
うっかり近づきすぎると「あいたた！ハリがささった！」と友だちにささってしまうからです。でも、クマさんの優しい言葉でハリネズミくんは、自分にできるいいことを思いつきました。
ハリネズミくんと森の動物たちの、お互いを思う優しい気持ちが作者の温かい絵にあふれていて、心をほっこりさせてくれます。
冬限定のスペシャルジャケットでプレゼントにいかがですか？



『おくりもの』
作：豊福 まきこ
出版社：BL 出版



『くもをさがす』
作：西 可奈子
出版社：河出書房新社

これは、作家 西可奈子さんの初のノンフィクションです。

2021年、世界中がコロナの感染拡大によって混乱していた時期。西さんは、移住先のカナダで乳がんの宣言を受けました。その時から、治療、手術、術後と時を追って自分で自分の心の内をありのままに書いたエッセイです。

死に対する不安や恐怖に向き合い、かけがえない家族やたくさんの友人に支えられて闘病生活を送る日々の様々な思いがリアルに伝わってきました。

この本の最後の

「乳房を失った私の体が、今の私の全てであるように、欠けたもののある私の文章は、でも未完成ではない。欠けたもののある全てとして、私の意志のもと、あなたに読まれるのを待っている。」という一文に西さんの強い思いを感じました。

■食卓に吹く風（40） ～人道の船 陽明丸と茅原船長～

■難民となった子どもたち



今から 100 年ほど前の物語りです。

ロシア革命が起こったのは 1917 年と歴史で学びましたが、その後各地で内戦があり、国内は混乱を極めたようです。そのロシアとここ笠岡がしっかり線で繋がっていたという世にも稀有でロマンさえ感じられる歴史が暗がりから掘り出されたお話です。

戦乱のなか酷い食糧難のため、首都ペトログラード(現在のサンクトペテルブルグ)の親元を離れて、遠くウラル地方へ疎開した約 800 名の子どもたちがいました。そこでも戦乱に巻き込まれ、酷寒の地で孤立し凍餓死の危機に直面したのです。難民となった彼等を救い出して保護し、比較的安全なウラジオストックまで移送したのが、米国赤十字シベリア救護隊でした。やがてそこにも戦闘が及びそうになり、救護隊は子どもたちを連れて船で洋上に逃れ、地球をほぼ一周して親元に返そうという無謀ともいえる計画を立てたのでした。でも、あまりにも無茶な計画だと米国政府からも、どこからも賛同を得られませんでした。そんななかやっと要請に応じてくれたのが、日本船『陽明丸』だったのでした。

■太平洋と大西洋横断の旅



船主は神戸の船会社勝田汽船で、社長の勝田銀次郎は、誰かがやらねばならぬ仕事だと引き受ける決心をしたのです。陽明丸の船長に任せられたのが、笠岡市甲筈出身の茅原基治(かやはらもとじ)でした。

貨物船を客船に改造し、帰還捕虜も加えた総勢約 1,000 名の乗員・乗客を乗せ 1920 年 7 月 13 日陽明丸はウラジオストックを出港しました。

室蘭港に食料買入れのため入港したあとはサンフランシスコからパナマ運河を抜けてニューヨークへ。そして大西洋を渡り、フランスのブレスト港からドーバー海峡を経て、最後の難関機雷が浮かぶバルト海に進入。出港から 3 か月、陽明丸は最後の目的地、フィンランドのコイビスト港に入港し、子どもたちを無事送り届けることができたのでした。

■史実を顕彰するということ

新しい物語りは 2009 年 9 月、ロシアのサンクトペテルブルグで始まります。石川県在住の書家北室南苑さんの個展が開かれていた会場に、ロシア人女性が訪ねてきて、キタムロと室蘭は関係があるのではというのです。90 年前に起きた事件の事で、日本のある船の船長の子孫を探していて調査してほしいという依頼でした。英文の資料には 800 名の子どもたちを送り届けた日本船 Yomeymaru と Kayahara 船長の名がありました。

女性の名はオルガ・モルキナさん。祖父と保母から陽明丸での大航海のことをよく聞かされていて、何とかカヤハラ船長の遺族を見つけ、難民の子孫を代表してお礼を述べたいと望んでいました。

オルガさんに依頼されてから 2 年後、北室さんは古い船員名簿の中から茅原基治の名を見つけ、その後インターネットで金光図書館に茅原船長が書き残した航海記録が保存されていることも知りました。

こうして 100 年前の史実に光が当てられ、モルキナさんも来日して墓参りすることができ、願いが叶えられました。地元でも気運が高まり、顕彰碑も建てられ多くの方がこの史実を知ることができました。

今、ウクライナでもパレスチナでもミャンマーでも人の命が軽々と踏みつけにされている時、史実を顕彰することの意味を深く考えずにいられません。その当時、世界は戦時で、日本もシベリアに出兵していました。そのなかでも人道という砦の中で国を越えて助け合い、偉大な事業を成しとげられたのです。戦争をやめてほしい、人の道は踏み外さないで!と祈るばかりです。(石井 広子)



ほんわかシアターさん ありがとう♪



日時：2023年9月8日(金)

18:30~19:30

会場：笠岡市保健センター

ギャラクシーホール

今回は、終演後、ロビーで舞台の人形たちと記念撮影をしたり、いつもは見る事ができない、舞台装置の解体作業を会場のみんなと見る事ができました!

☆☆☆☆みんなの感想！ありがとう☆☆☆☆

すごく盛り上がって楽しかった。

笠岡南那 2年生

絵本は少し怖いけど、楽しかったです。人形・大道具、

手作りすごいです。

酒井恵子

いろいろな音楽で劇をおもしろくしていたのです

ごいと思った。 原田泰成 6年生

ねずみばあさんがおもしろかった。

北井なな 2年生

さととあきらがケンカするところが

面白かった。 原田しゅうご 3年生

ねずみばあさんが大きくなる場所がおもしろかった。

菊池主真 4年生

おもしろかった。 原田あいき 1年生

とても楽しかったです。色んな子供の気持ちが表現されて、新鮮でした(ばあばとしては)。子供達の為に、作品を作りあげて下さる事感謝、感動です。

曲と合わせていたのがすごかったです。人形の動きが面白かった。ねずみばあさんとねずみが、合体していたのが凄かった。

奥野りお 3年生

お身体気を付けて、多くの子供達に感動、ハートを届けて下さい。

ねずみばあさんと男の子が追いかけていたのが面白かったです。人形の動きがすごかったです。色んな工夫が見られて良かったです。ありがとうございました。 未記名

さいしよのハンカチの

とがおもしろかった。

菊池たいせい 2年生



ち ない た け お

左手のピアニスト 智内 威雄



左手で奏でるピアノの響き

心にひびく命の音

2023年

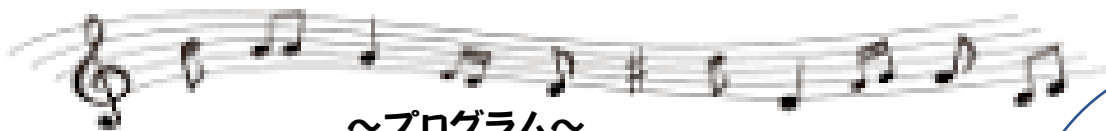
12月9日(土)13:30 (開場 13:15)

笠岡市保健センターギャラクシーホール



公式HP <https://tchinai.com/>

Facebook facebook.com/pianisttchinai/



～プログラム～

- シューベルト(斎藤友子編曲)「アヴェマリア」
- カタルーニャ地方の民謡「鳥の歌」
- J.S.バッハ作曲(左手のアーカイブプロジェクト監修)「バッハ小前奏曲」
- J.S.バッハ作曲(ブラームス編曲)「シャコンヌ」

---休憩---

- ～音と朗読の世界:谷川俊太郎作「生きる」～
- 近藤浩平作曲「三段峡と八幡高原」
- 2023 作曲プロジェクト～作曲ワークショップより関西の子どもたちが作曲した左手楽曲の紹介～
小学6年生女児、小学2年生女児、小学2年生男児、小学3年生男児
- 朴守賢(パク・スヒョン)作曲「ワンハンドピアノのためのシンフォニア」
- スクリャービン作曲「前奏曲と夜想曲」

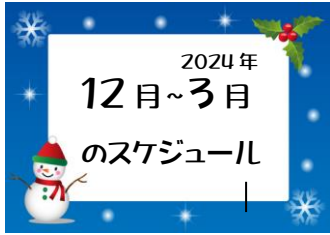
※演奏者の都合により演奏順・曲目に変更になることがあります。



今回は、5名の
こどもから大人
の皆さんが
智内さんのピア
ノと共に朗読を
披露します。

■ハーモニーネット未来からのお知らせ

(問い合わせ：0865-63-4955)



インターネットから

ハーモニーネット未来 検索

クリック

※ホームページでも右記の予定を
みることができます。

日程	時間	内容
12/10(日)	10:00~	文章教室(事務所2F)
17(日)		フード&ライフドライブ「てとて」
19(火)	10:00~	ぴゅあカフェ(事務所)
29(金)	~2024年1月8日(月)	年末年始の休み
1/9(火)	13:00~	子育てひろば「あおぞら」スタート
13(土)	10:00~	絵画教室(事務所2F)
14(日)	10:00~	文章教室(事務所2F)
27(土)	10:00~	絵画教室(事務所2F)
28(日)		フード&ライフドライブ「てとて」
2/10(土)	10:00~	絵画教室(事務所2F)
11(日)	10:00~	文章教室(事務所2F)

※予定が変更する場合があります。

TEL0865-63-4955 までお問い合わせください。

※事務所とは、ハーモニーネット未来のことです。

※「ぴゅあそ〜る」(事務所2F)毎週火曜日 10:00~

※「ぴゅあカフェ」(事務所2F)第3火曜日 10:00~

※移動ひろば「あおぞら」 毎週火・木曜日 10:00~

※「おはなしの会」 毎週水曜日 10:30~11:00

「レシート1枚」でできる支援！

毎月11日は
イエローレシートの日

買い物をしたら、店内設置のボックスに黄色いレシートを入れてください。

1%が、ハーモニーネット未来に寄付されます。

場所:マルナカ笠岡店

1日約33円~の寄付が
ひとり親家庭等の支えとなります。

毎月クレジットカードから寄付できる!
マンスリーサポーターへの登録をお願い
いたします。

皆さまからの寄付により、ひとり親・生活困窮家庭へ**食料・学習・居住**の各支援を行います。



こちらのQRコード
からどうぞ!



~ 次回舞台鑑賞のお知らせ ~

かえるのそらとぶ
けんきゅうじょ



2024年 (開場18:15)
3月22日(金)18:30~
笠岡市保健センター
ギャラクシーホール

もりのはずれの大きな
どんぐりの木にくらす、
かえる、とかげ、あま
がえる。ある日、どん
ぐりの木にやってきた
「けむくじら」なや
つにであってからとい
うもの、かえるの様子
がちよっとおかしいの
です。
どうやら、なにやら、
ひとりこもって「けん
きゅう」をはじめたよ
うなのですが…。